【第三種郵便物認可】 【月ぎめ購読料朝夕刊5,500円（うち消費税407円）、朝刊のみ4,800円（同355円）・1部売り朝刊200円、夕刊100円】 日本経済新聞

防災情報 分かりやすく

気象庁、分類・名称を再編

発表、自治体と協力検討

複雑で分かりにくい防災気象情報を整理するため、気象庁が情報の名称や分類を見直す。現在は土砂災害の危険度を示す「大雨警報・特別警報」「土砂災害警戒情報」が混在するなど名称に一貫性がなく、発表主体も分かれている。災害が激甚化する中、5段階の警戒レベルとの関連を整理して再編し、迅速な避難行動につなげる狙いだ。

防災気象情報の改善策を話し合う気象庁と国土交通省の有識者検討会が6日、見直し案をまとめた。導入は数年後とみられる。具体的な時期や名称は今後議論する。

気象庁は洪水、土砂災害、高潮に関し、警戒レベル1～5に当たる防災気象情報を原則市区町村ごとに発表している。自治体は発表された情報の警戒レベルを基準に、住民への避難指示を出すかどうかを判断する。

このうち土砂災害では、「大雨特別警報」は最も危険な警戒レベル5に当たる。レベル4は「土砂災害警戒情報」、レベル3は「大雨警報」となっている。大雨に関する警報と土砂災害に関する情報が混在し、リスクが伝わりにくい面があった。

高潮に関する気象庁の情報は「高潮特別警報」と「高潮警報」の両方とも警戒レベル4相当に位置づけられている。

気象庁が2022年1月、20～70代の男女2000人に実施したアンケート調査によると、55%が「情報の種類が多すぎて分かりにくい」と回答。土砂災害警戒情報と大雨警報のどちらがより危険なのか直感的に理解しにくい点なども課題だった。

19年に警戒レベルを導入した際、既存のさまざまな情報を5段階に振り分けたため、住民や自治体にとって分かりにくさがあった。

土砂災害の情報を巡っては、検討会ではそれぞれの警戒レベルで名称に「土砂」の表現を入れた情報を設ける案が示された。土砂災害の情報であることを明確にして警戒レベルとの関連も分かりやすくする。高潮の情報の分類も整理する。

発表主体も検討する。現在は大雨警報・特別警報を気象庁単独、土砂災害警戒情報は同庁と都道府県が共同で発表している。今後は同庁と自治体などの関係機関が協力して発表することも想定する。

中小規模の河川の洪水は現在、国交省が河川ごと、地方気象台が市町村ごとに複数の情報を発表している。検討会は発表の内容をそろえ、共同で発表する案を示した。

土砂災害は近年、増加傾向にある。国土交通省によると、22年8～9月は32道県で525件起き、直近10年間の同時期の平均（366件）を上回った。集中豪雨などによって人的被害を伴う大規模な被害も各地で出ている。

東京女子大学の広瀬弘忠名誉教授（災害リスク学）は「防災情報として長く使われただけに、見直した場合は周知の徹底が欠かせない」と指摘する。

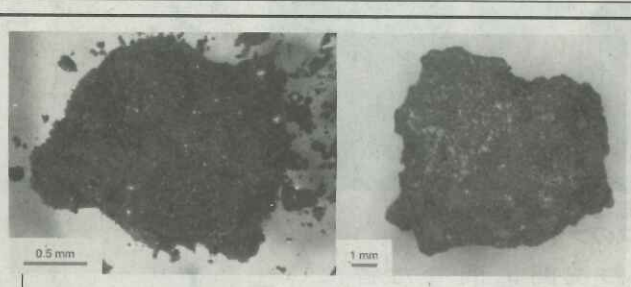
その上で「名称変更が被害減に直結するとは限らない。住民への避難指示のタイミングなど、自治体に求められる対応の目安を示し、気象庁は減災につなげる運用面の努力も必要だ」と話す。

（宮田圭）

主な防災気象情報と警戒レベル

大雨特別警報	5	直ちに身の安全を確保	→ 分類や名称などを再編
氾濫発生情報			
高潮氾濫発生情報			
土砂災害警戒情報	4	避難指示を目安に発令する	
氾濫危険情報			
高潮特別警報			
高潮警報			
大雨警報	3	高齢者らに避難を促す目安	
洪水警報			
氾濫警戒情報			
高潮注意報			

（注）太字が土砂災害に関する情報



りゅうぐうの試料㊧と、1864年にフランスに落下した隕石。りゅうぐうの試料の方が色が暗い＝東北大などの研究チーム提供

隕石、地球の大気で変色

「りゅうぐう」試料と比較

水・酸素に触れ明るく

地球に落下した隕石（いんせき）は、大気中の水や酸素に触れて明るく変色していることが分かったと、東北大などのチームが6日、発表した。探査機はやぶさ2が持ち帰った小惑星りゅうぐうの試料と、約150年前に地球に落ちた隕石を比べて明らかにした。

小惑星を構成する物質は太陽系初期の情報を含み、歴史を解明する手がかりになると期待される。また、隕石のほとんどは小惑星の破片だ。りゅうぐうの試料も隕石と成分が似ているが、見た目は隕石よりも暗い。その理由は謎だった。

チームは、りゅうぐうの試料と似た物質でできている、1864年にフランスに落下した隕石を使って実験。りゅうぐうの試料を大気に触れないようにした状態で、表面で反射する光の波長を分析した。次に、真空中に置いた隕石をさまざまな温度で加熱した場合の光の波長を調べた。

その結果、隕石を300度で加熱した場合に、構成物質はほぼ変わらずに、見た目がりゅうぐうの試料と同程度になった。長期間、地球環境にさらされたことで鉄の酸化や水の吸着が起きていたのが、加熱によって酸素や水が取り除かれたことが理由とみられる。

これまで隕石がどの小惑星に由来するのかは、実験室で分析した隕石表面の光の波長と、地球から観測した小惑星の光の波長が一致するかどうかで探っており隕石が大気で変色する現象は考慮されていなかった。

ユアサM&B

Port Poot

小樽港が小樽おなら!?

道路標識、30年以上ミスか

北海道小樽市赤岩の市道に設置された道路標識のうち、小樽港の英語表記が、俗語で「おなら」を意味する単語を使って「Otaru Poot」と誤っていたことが6日、分かった＝写真。市によると30年以上にわたり使用されていたとみられる。7日、正しい表記の「Port」に修正する。

市によると、標識は1992年度に設置されたとみられるが、資料が残っておらず原因は不明という。今年10月ごろに市民から指摘を受けた。

担当者は「海外からの観光客も増えており、誤りを直したい」と話した。

囲碁・一力が初の三冠

天元位、3期ぶり奪還

囲碁の第49期天元戦5番勝負の第4局は6日、兵庫県洲本市で打たれ、挑戦者の一力遼二冠（26）が242手で関航太郎天元（22）に白番中押し勝ちし、対戦成績3勝1敗で天元のタイトルを奪還、棋聖、本因坊と合わせ自身初の三冠保持となった。天元位は3期ぶり2度目。

終局後、一力天元は「結果を出すことができたのはよかった。ただ、まだ内容的に改善できる点はいろいろある」と話した。今年は3月に棋聖を初防衛。7月には本因坊を初獲得し二冠に。さらに天元を加えて三冠となり、年内のタイトル戦を終えた。

桜井 規順氏（さくらい・きじゅん、本名＝のりよし、元参院議員）11月21日、腎不全のため死去、88歳。連絡先は社民党静岡県連合。告別式は近親者で行った。

1989年に静岡選挙区から出馬し初当選、1期務めた。

木谷 隆治氏（きたに・たかはる＝元共同通信社専務理事）11月7日、老衰のため死去、91歳。連絡先は同社総務局。告別式は近親者で行った。喪主は妻、千枝さん。